

あいち住宅技術交流ネットワーク設計施工基準

認定住宅とするための設計ポイント

まもりすまい保険設計施工基準に加え、A又はBのタイプに適合する設計として下さい。

□ Aタイプ：基礎高 400mm + 外壁通気工法

項 目	仕 様	
基礎の高さ	<input type="checkbox"/> G L+400mm以上	本設計施工基準 第4条
外壁通気構法 (まもりすまい保険の 設計施工基準と同一)	<input type="checkbox"/> 外壁の防水	〃 第5条
	<input type="checkbox"/> 乾式、湿式の外壁仕上げで通気構法	〃 第6・7条

□ Bタイプ：外壁性能評価基準の劣化対策等級2以上

項 目	仕 様	
基礎の高さ	<input type="checkbox"/> G L+400mm以上	
外壁の軸組等の 防腐・防蟻対策 (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> 外壁通気工法	
	<input type="checkbox"/> G L+1 m の範囲	※柱： <input type="checkbox"/> 薬剤処理 <input type="checkbox"/> 小計 12 c m以上 <input type="checkbox"/> 耐久性区分 D 1
		※柱以外の軸組材： <input type="checkbox"/> 薬剤処理 <input type="checkbox"/> 耐久性区分 D 1
合板： <input type="checkbox"/> 薬剤処理		
土台の防腐・防蟻 対策	<input type="checkbox"/> 土台に接する外壁下部に水切の設置	
	※ <input type="checkbox"/> 薬剤処理：K 2以上 <input type="checkbox"/> 耐久性区分：D 1の一部	
浴室・脱衣室の防水 (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> 防水上有効な仕上げ	
	<input type="checkbox"/> ユニットバスの設置	
地盤の防蟻対策 (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> べた基礎の採用	
	<input type="checkbox"/> 地盤の薬剤処理	
床下の防湿・換気 対策	※ <input type="checkbox"/> 厚 60mm以上の防湿コンクリート <input type="checkbox"/> 厚 0.1mm以上の防湿フィルム	
	<input type="checkbox"/> 換気口の設置	
小屋裏換気 (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> 小屋裏給排気：1 / 3 0 0 以上	
	<input type="checkbox"/> 軒裏給排気：1 / 2 5 0 以上	
	<input type="checkbox"/> 軒裏又は小屋裏給気+小屋裏排気：1 / 9 0 0 以上	
	<input type="checkbox"/> 軒裏又は小屋裏給気+排気塔排気：給気口 1/900 以上、排気口 1/1600 以上	

※印は、いずれかで対応

あいち住宅技術交流ネットワーク設計施工基準

認定住宅とするための設計ポイント

まもりすまい保険設計施工基準に加え、下記に適合する設計として下さい。

□かぶり厚さ等 : A欄、B欄のどちらかによる

部 位			仕 様	
			□ A	□ B
直接土に接しない部分	耐力壁以外の壁、 床、屋根	屋内	20mm 以上	30mm 以上
		※ 屋外	30mm 以上	40mm 以上
	耐力壁、柱、はり	屋内	30mm 以上	40mm 以上
		※ 屋外	40mm 以上	50mm 以上
直接土に接する部分 (※)	壁、柱、はり、基礎の立ち上がり部分		40mm 以上	50mm 以上
	基礎 (立ち上がり、捨てコンクリート部分を除く)		60mm 以上	70mm 以上
普通コンクリートの水セメント比			55% 以下	60% 以下

※外壁、屋根で屋外に面する部位をタイル貼り、モルタル塗り、外断熱工法による仕上げとする場合は、10mm減ずることが出来る。

□コンクリートの品質等

部 位	仕 様
使用するセメント	ポルトランドセメント、フライアッシュセメント、高炉セメント
コンクリートの品質 (右記のいずれか)	□コンクリート強度：33N/mm ² 未満・スランプ：18cm以下 □コンクリート強度：33N/mm ² 以上・スランプ：21cm以下
コンクリートの 単位水量	185kg/m ³ 以下
日最低気温の平滑平年値の年間極値が0℃を下回る場合のコンクリート中の空気量：4%から6%	

鉄骨造

あいち住宅技術交流ネットワーク設計施工基準

認定住宅とするための設計ポイント

まもりすまい保険設計施工基準に加え、下記に適合する設計として下さい。

防錆措置

構造耐力上主要な部分（柱、はり、筋かい）

部 位			仕 様
最下階の柱脚部	コンクリートに埋設される	コンクリートの上端から下方10cm上方1mの範囲	<input type="checkbox"/> 最小厚：9mm以上 <input type="checkbox"/> ジンクリッチプライマー1回以上塗布
	上記以外	当該鋼材下端から上方1mの範囲	
上記以外（右記のいずれか）			※ <input type="checkbox"/> 最小厚：9mm以上 ※ <input type="checkbox"/> 最小厚：6mm以上、ジンクリッチプライマー1回以上塗布

構造耐力上主要な部分（柱、はり、筋かい以外）

部 位	仕 様
柱、はり、筋かい以外（右記のいずれか）	※ <input type="checkbox"/> 最小厚：9mm以上 ※ <input type="checkbox"/> 鉛系さび止め塗料2回以上塗布

防湿措置（べた基礎の場合を除く）

部 位	仕 様
※ <input type="checkbox"/> 防湿コンクリート	<input type="checkbox"/> 床下全体に厚さ6cm以上 <input type="checkbox"/> 打設前の床下は十分突き固める。
※ <input type="checkbox"/> 防湿フィルム	<input type="checkbox"/> 床下全面に（JISA6930、JISZ1702、JISK678）厚さ0.1mm以上 <input type="checkbox"/> 防湿フィルムの重ね幅は15cm以上 ※ <input type="checkbox"/> 砂押さえ ※ <input type="checkbox"/> 砂利押さえ ※ <input type="checkbox"/> コンクリート押さえ

※印は、いずれかで対応

床下換気（床下に空間が生じる場合（基礎断熱施工の場合を除く））

部 位	仕 様
外周部（右記のいずれか）	※ <input type="checkbox"/> 有効面積：300㎡以上、間隔：4m以内 ※ <input type="checkbox"/> ねこ土台：1m当たり75cm ² 以上
<input type="checkbox"/> ネズミ等の侵入を防ぐ処置	

小屋裏換気（小屋裏空間が生じない時、屋根面に断熱材を施工する場合を除く）

部 位		仕 様	
設置方法 (右記のいずれか)	<input type="checkbox"/> 独立した小屋裏ごとに2か所以上		
	<input type="checkbox"/> 有効面積	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 両妻壁に設置	有効換気面積：天井面積の1/300以上
		<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 軒裏に設置	有効換気面積：天井面積の1/250以上
		<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 軒裏給気、妻壁排気を設置	<input type="checkbox"/> 垂直距離で90cm以上離す <input type="checkbox"/> それぞれの換気孔面積：天井面積の1/900以上
		<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 器具を用いた排気孔、軒裏給気孔を設置	<input type="checkbox"/> 排気孔面積：天井面積の1/1600以上 <input type="checkbox"/> 給気孔面積：天井面積の1/900以上
	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 軒裏給気孔、かつ、棟部排気孔を設置	<input type="checkbox"/> 排気孔面積：天井面積の1/1600以上 <input type="checkbox"/> 給気孔面積：天井面積の1/900以上	